

冬号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所

連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17

TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和7年4月26日(土)【予定】

10:00~12:00、14:00~16:00

場所：21世紀記念公園とんがりふれあい館ホール

定員：各回20名

内容：樹木観察、ハナカツミ講習会

受講料：1,500円

募集期間：令和7年4月3日(木)9:00から

令和7年4月11日(金)17:00まで

申込方法：電話 FAX・メール又は窓口で受付

定員を超えた場合は抽選となります。

【みどり講習会】*受講料無料、予約不要

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付申請者及び希望者

日時：令和7年3月9日(日)10:00~12:00

内容：庭づくりのポイント

*樹木医による園芸に関する講座です。

令和7年が始まりました。本年もよろしくお願いたします。寒紅梅などの早咲きの花梅は平年ですと12月中から開き始めていましたが、正月を過ぎた今でも蕾は硬いままで。秋遅くまで気温が高かった為かそれともそれ以降の気温の低さの影響を受けている事が遅らせている原因なのか。それとも降水量が影響しているのか。その植物のおかれた環境によって毎年違いが出てきますね。今年の3月は暖かい予報が出ていますので春は早いかもしれませんね。寒い地域に住んでいると春が待ち遠しい今の寒さです。



My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

水やりの頻度は冬の間は少なくなります。やっと正月過ぎに雨や雪が降り植物にも水分が届きました。それでも乾燥が続くときには水やりが必要です。暖かい日の午前中にあげるようにします。特に鉢植えの場合は寒風が乾燥を更にすすめます。冬の間枯らしてしまう大きな要因となります。寒さに弱い植物の場合は冷たい水をあげると根に障害を受けますので、少し温まった水をあげます。根元を腐葉土などでマルチングしておくことで寒さや乾燥を防ぐことができます。

【植替え】

常緑広葉樹はこの寒い時期は適しません。春の彼岸以降まで待ちます。常緑針葉樹も適期は彼岸前

後になります。ただし根鉢を崩さないようにして、植え付け後の水の管理をしっかり行えば寒い時期でも大丈夫です。この時期は落葉樹には、よほどの厳寒期を除けば適期となります。芽が動き出す3月いっぱい失敗しにくいと思われれます。

【肥料】

これからの時期にあげる肥料が植物にとっても大事なものととなります。寒肥といって有機質緩効性肥料が向きます。その代表的なものが骨粉入り油粕になります。以前に比べると肥料は値段が高くなってきてはいますが、寒肥によって今年一年の育ち方が左右されるといっても過言ではありません。あげ方としては根の周りをツボ穴状に掘って腐葉土などと混ぜて埋め戻すことが

最適です。量的には高さが 2 から 3 m の樹木ならコップ一杯ほどの油粕で大丈夫かと思われます。油粕の場合は成分が高くはないので少くあげたとしても障害は少ないです。掘るのが大変な時はばら撒きをしても効果はあります。春からの植物の勢いに差が出ると思えますので試してみてください。草花などに使う液体肥料のように即効性ではないのですぐに変化があるわけではありません。そして肥料は弱っているからそれを直すものでもありません。成長をサポートするのが肥料です。山林のような循環型の場合は肥料をあげなくとも育つことができます。そこを忘れてはいけません。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。一般家庭ではスプレータイプの薬剤散布がお勧めですね。カイガラムシやアブラムシといった退治にくい害虫に対して冬季のみに使用できる薬剤があります。マシン油乳剤などですが、登録されている植物には使用することができます。ちなみにこの薬剤にもスプレータイプがあります。この薬剤は害虫を油の膜で包んで窒息させて退治します。害虫の排泄物ですす病が出ているような場合は使用する価値はあります。白いのがカイガラムシです。



【剪定】

この時季は落葉樹の剪定に向いています。彼岸前までなら太い枝なども剪定できます。ただし余りにも切りすぎると弱ってしまったり、観賞価値が下がってしまいますのでほどほどにしてください。落葉時期といえどもカエデ類は切り口から樹液が流れ出て枝が枯れ下がったりします。本来は年内に済ませておきます。花木は既に蕾が出ていたり花芽が出来ている場合があります。

それを見極めながら剪定を行わないとせっかくの花が少なくなってしまう。一般的には大きく膨らんでいる芽は花芽になると思われます。アジサイやユキヤナギなどの根元から新しい幹が伸びてくる植物は、幹を間引きして透かすようにしてあげるとその良さが出てきます。刈り込んで丸くしてあるのを見かけますが本来の姿ではありません。針葉樹のマツ類の剪定は混みあった枝を整理してすっきりさせます。ただし今年芽は切ってはいけません。マツの場合は枝が一ヶ所から 3 本出ていることが多いので真ん中の 1 本を切って 2 本を残します。コニファー類は彼岸過ぎの暖かくなってから剪定を行うようにしますと新芽が伸び綺麗な形に仕上げることができます。常緑広葉樹は寒いこの時期は剪定には向いていません。春暖かくなってから行うようにします。



【この時期のハナカツミ】



鉢植えの場合は去年の葉を切ってあげましたか？根元を見ると既に芽が動き始めています。これからが株分けや植え替えの時期となります。遅くならないようにします。山野草土を使用することをお勧めします。庭植えで根が表面に出てぐらついているような場合は増し土をしてあげます。根元に土を寄せてあげることです。